

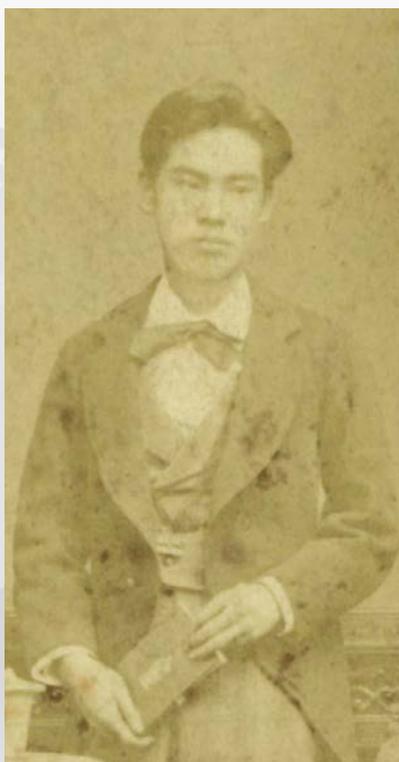
特別講演会 青山 温子

名古屋大学名誉教授・名古屋学芸大学特任教授

パブリックヘルス = 人々の健康を守る

～後藤新平の築いた「公衆衛生」から「グローバル・ヘルス」へ～

後藤新平は、行政トップとして公衆衛生（パブリックヘルス）に携わり、近代日本医学の先駆者として偉大な貢献を果たしました。パブリックヘルスの歴史をたどり、そのグローバルな展望を考えます。



2019年7月23日 火

15:30-17:00

名古屋大学医学部
基礎研究棟
1階 会議室2

入場無料
予約不要



問合せ先: 名古屋大学附属図書館医学部分館

名古屋市昭和区鶴舞町65

TEL 052-744-2505

library2@med.nagoya-u.ac.jp

特別講演会

パブリックヘルス = 人々の健康を守る ～後藤新平の築いた「公衆衛生」から「グローバル・ヘルス」へ～

日時: 2019年7月23日(火) 15:30-17:00

会場: 名古屋大学医学部基礎研究棟 1階 会議室2

青山 温子 (名古屋大学名誉教授・名古屋学芸大学特任教授)

名古屋大学医学部卒、同大学院医学研究科修了、医学博士。専門分野は国際保健医療学・公衆衛生学。

基礎医学研究、産婦人科臨床に従事後、国立国際医療センター国際医療協力局にて政府開発援助事業、さらに世界銀行にて中東地域の保健医療分野開発事業に携わった。2001年から2019年まで名古屋大学大学院医学系研究科教授として、低中所得国における生活習慣病に関する研究などを先駆けて進め、修士課程公衆衛生コース開設に尽力した。また、外務省 ODA 総合戦略会議委員、JICA 外部有識者評価委員会委員、厚生労働省国際協力事業評価検討会会員、国立感染症研究所評価委員、世界エイズ結核マラリア対策基金技術評価委員会委員などを歴任した。

主な著書:「開発と健康—ジェンダーの視点から(有斐閣)」、「シリーズ国際開発 第3巻:生活と開発(日本評論社)」、「Economic and Policy Lessons of Japan to Developing Countries (Palgrave Macmillan)」、「Reproductive Health in the Middle East and North Africa: Well-Being for All. (The World Bank)」など。

ミニ展示会

後藤新平—名古屋活躍編—

2019 6. 7 FRI - 11. 29 FRI

平日 9:00-20:00 *8月8-23日は9:00-17:00

土 13:00-17:00

休館日 日・祝日、8月10、13-14、17、24、26-31日



第20回となる今回は、名古屋大学医学部の礎を築いた人物の一人でもある後藤新平(1857-1929)を取りあげます。後藤新平は、内務省官僚、台湾民政長官、満鉄総裁、東京市長を歴任し、近代日本を代表する官僚・政治家として広く知られていますが、そのキャリアのルーツは名古屋時代の医師でした。

ミニ展示「後藤新平—名古屋活躍編—」は、愛知医学校時代を中心に、名古屋における後藤新平の足跡をたどるものです。国内で最初に西洋式麻酔を使った外科手術を描いたとされている「明治初年愛知県公立病院外科手術の図」や、『国家衛生原理』をはじめとする著書、後藤が考案した卒業証書、写真、絵葉書などを展示します。

名古屋大学附属図書館 医学部分館 2階入口ホール

入場無料